

3次元世界から2次元世界へのいたずら

昨年、土岐市文化プラザで、天文学者であり、名古屋大学の総長でもある杉山直先生が講演をしてくださいました。その際に、〇〇次元というのは、理論上は9次元までであると考える人もおり、それはどんな世界なのか、私たちには想像するのが非常に難しいものとおっしゃられました。しかし、その難しさを説明するのに、表題に示したような例え話をしてくださったのですが、それが非常に興味深いものでした。数学で習ったX,Y,Z軸を描いた空間に立っているつもりで想像してみてください。いま、3次元の世界に生きている私たちが、高さのない平面だけの世界にべったりと貼りついているようなものたちに向けて、ボール（球体）を通過させるいたずらをするとして。すると、平面世界の住人たちの世界には前触れもなく「点」が出現し、その後、それが小さな円になり、だんだん大きくなりますが、一定の大きさまでいくと、今度は小さくなっていきます。最後は最初と同じ点になり、ふっと消えてしまいます。2次元世界の住人たちにとっては、怪奇現象でしかありませんが、私たちには、始終ボールの移動が見えています。

この話を聞いた瞬間、私はワクワクしました。いま私の目の前に突然少年がふっと現れて、少ししてまたふっと消えてしまったら、私はそれを怪奇現象だと思うけれど、4次元世界の住人のいたずらだとしたら？その少年は4次元世界ではどんな形に見えるのかなど。もう少し理系的知識が豊富な人は違うことを考えるかもしれませんが、こういう想像をしたことがなかった私にとっては非常に新鮮で、しばし空想の世界を旅していました。

杉山先生が背景知識のない市民にもわかるように話してくださったことを思い出したのは、2年生の探究発表会やゼミのレポートを読んだからです。2月になり、2年生だけでなく1年生や一部の3年生も、探究活動のまとめに入っています。自分がわかっていることを人にもわかりやすく伝えるには想像力が必要です。「自分のわかる」と「聞き手のわかる」のギャップを埋めていかなければいけません。想像力を大いに働かせた話は、聞き手を動かします。これは、入試で大学の先生に伝える時も同じです。皆さんがとても面白いテーマに取り組んでいるからこそ、1年次のビブリオバトルを思い出してもらいたいです。

また、皆さんは探究活動の中で、目が輝くような新しいものの見方に出会えたでしょうか。今月末に学年末考査が終わると、3月～4月にかけて自分の時間ももてます。この期間にぜひ大学や学問調べをして下さい。お勧めなのは、**河合塾の『みらいぶっく 学問・大学ナビ』というサイト**です。このサイトでは一般的な検索に加え、大学の最新研究や、その道の研究者が若い頃に読んでいた本、仕事の種類やお給料の話などあなたの視野がひろがること間違いなし！進路説明会でいつも伝えてきましたが、やはり「ときめきは原動力」です！（文責：桑原）

♪3年の窓♪

格闘のただ中にある3年生とそこに向かうみなさんへ

入試結果が少しずつ届いている。「おめでとう！」と喜び合える人ばかりではない。上手いかないことなんて、それこそいっぱいあるのだから、結果ではなく経過こそが大事だと言えるし、乗り越える強さが必要だとも言える。でも、しんどいことのただ中にある人に伝えたい。「上手いかなくたって大丈夫だよ。貴方はそのまま素敵だから」。ジャニス・ジョップリンというロックシンガーがいる。亡くなってずいぶん経つが、最近また何かのCMで彼女の歌が流れていた。生きることにたくさん傷ついた彼女の和訳歌詞を探していたら、その言葉に出会った。ジャニス自身の言葉ではなく傷ついたジャニスに届けと発した言葉だ。昔ラジオの深夜放送で、あるシンガーが歌っていた。「いつもいつも僕が君を見てあげるから安心してお休み」。たった一人で戦っている気分だった、自宅浪人生だったときのこと。

埼玉県道路陥没事故、苦しみの中にあって伝えられた記事。クボタという農機具メーカーが、4月からAIを活用して地上から危険な水道管を把握する技術を提供する。掘削しないで老朽化した水道管の中に新しい管を通して樹脂で固めて更新する、技術の開発にも取り組んでいる。他の会社も掘削しないで腐食した水道管を更新する技術を持っている。そういう技術も医薬品も理系の「こういうのがあったら」という思いから出発している。実現できないことだと初めからあきらめてしまうのではなく、なんとかしてできないかと考える、そこから始まる。みなさんの志望理由の中に「人の役に立ちたい」という言葉がある。文理、道は違えど自分の希望進路に進んで、新しい技術や方法を見出して活かしていく、それは大きなことから日常の小さなことにまで通じることだ。人は失敗する。そこで留まるのではなく、反省を活かして次に進む、それが大切なことだ。私も、授業等を通じてあなた方にどうやったら少しでも多くの知識・知恵を伝えられるか、自分自身を更新していくかを模索している。「明日という字は明るい日と書く」のだ。（文責：谷口）

♪2年の窓♪

高校2年生

早いもので、2025年もすでに1か月と半月が過ぎました。と言っても、学校・社会で一区切りとされるのはやはり4月から3月の「年度」ですね。体育大会、修学旅行、文化祭、球技大会、2度の2者懇談と3者懇談、日々の学習や課題、部活動、ゼミ活動などなど、みなさんが2年生になってから、10か月以上が経ちました。どんな10か月でしたか？笑って過ごした日も、悔しくて泣きたい気分になった日もたくさんあったと思います。4月に思い描いた「高校2年生」を過ごせている生徒もいれば、そうでない人もいるでしょうが、それでもここまで努力したとどりに着いたあなたに、自分に拍手を送りましょう。大きなことでも小さなことでも、この1年で成し遂げたことを見つけて称賛を送ってください。そしたら、また気を引き締めましょう。

残り2か月で、みなさんは3年生になります。進路が決まる大切な1年になります。今の3年生が「格闘のただ中にいる」様子を見ている生徒も少なくないのではないのでしょうか。高校卒業後の進学先で人生の良し悪しは決まりません。ただし、そこで見て聞いて学ぶこと、過ごす時間、出会う人々があなたの人生にとっても大きな影響を与えることは疑いようがありません。

以前に、このさか草で述べた「自分が本当にほしいもの/したいこと」は、かすかにでも見えているでしょうか。これからはそこに向かって歩み、走っていく日々が続きます。「総合型」「学校推薦型選抜」「一般入試」、3種類の受験方式についてはみなさんもすでに知っているでしょうが、どの方式にも多くの努力が必要だということ覚えていてください。自分の思考を形にする能力、コツコツとした努力の積み重ね、勉学に励む時間、求められるものの形は必ずしも同じではありませんが、楽なものは1つとしてありません。

さて、改めて2025年はどんな年にしたいですか？3年生をどんな年にして卒業後に何を成し遂げたいですか？「勉強は一生続く」と言われますが、それでも「高校時代が1番勉強した」と述べる大人も少なくありません。先のことは分かりませんが、自分が納得し、後悔しないような行動・決断をみなさんができることを信じています。そのためにも、まずは2年生を自分のベストの形で締めくくりましょう。2年生最後の考查、学年末考查は来週から始まります。全力で取り組みましょう！

(文責：槇田)

♪1年の窓♪

「基本を大切に」

メジャーリーグで今年ほぼ満票でイチロー選手が殿堂入りをした。イチロー選手は5年間各地の学校で(2020年の智弁和歌山、21年は国学院久我山、千葉明德、高松商、22年に新宿、富士、23年の旭川東、宮古、24年は大冠、県立岐阜)高校球児に指導をしており、どの学校でも「基本のもっと手前の基本」をイチロー選手は伝えていると言っている。イチロー選手の考える「基本」とは何なのか。イチロー: みんな基本が大事ってわかっているんですよ、頭では。でもその基本が、その前の基本がまったくできてないんですよ。「基本のもっと手前の基本」を僕は伝えているだけなんです。例えばその中で岐阜高校では 部員: 僕たち大垣日大に秋季大会で負けたんですけど、力の差を感じて、普段の練習だけではパワーでは負けます、パワーをつけるためにはどうしたらいいですか? という問いにパワーのあるチームに対して、パワー付けて近づけても勝てると思う?そこで勝負しちゃ駄目だよ。岐阜高校にとって、パワーの差をどうやって補うべきなのか。その土台となるのはやはり、「基本」の根っこを理解する事と答え。イチロー: 自分の普段やっているリードやってみて。(足をクロスする)が僕はいらなと思うね。もうこのままでいてほしい。【中略】イチロー: こうやってここでこれいれる理由は何?理由が知りたい。部員: 早く幅を稼ぐっていうふうに教わっていて。イチロー: でもこの瞬間に来られたらどうする?部員: つまります。イチロー: そうだよ、それ、隙になっちゃう。【部員が隙のないリードにトライすると】イチロー: 相手はその方が絶対嫌だけどね、だって隙がないんだよ。と答えた。

翻って我々は大学入試という勝負において勝つための「基本のもっと手前の基本」を考えずおざなりにしてはいないだろうか?マークペンで重要単語を塗って勉強した気分ではいませんか?問題を解答するというOUTPUTをして初めて勉強の成果が出ます。人間も動物です入試は昼です、深夜に勉強するより、授業です。昼の授業中に頭を働かせましょう。

(文責：川嶋)